

## ねらい

平和教育の目標である「平和的な社会をつくる人に育ててほしい」という願い、SDGsの目標である「持続可能な視点から社会づくりに貢献できる人の育成」という視点から、自分なりの課題意識を持ち、多様な見方で問題解決の方法を考え、行動し、発表、発信、表現などの具体的な能動的な学習ができる子どもを育てる。

総合的な学習の時間（7時間）の単元指導計画

	授業の展開（☆予想される子どもたちの発言）	留意点（●主な発問）
既習の学びの振り返り	<p>0. 小学校の国語の教材では、中学年ぐらいから戦争に関する教材、社会科では6年で歴史学習が扱われている。そこで学んだことを想起させておきたい。</p> <p>☆物語の登場人物たちは、それぞれの立場で戦争の悲惨さや大変さを味わってきた。</p> <p>☆日本も世界の国々と戦い、登場人物と同じような思いを他の国々に与えていた。</p>	<p>【国語・社会科で扱われる戦争や平和に関わる主な教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちいちゃんのかげおくり（光村3年）</li> <li>・一つの花（光村4年）</li> <li>・たずねびと（光村5年）</li> <li>・長く続いた戦争、日本国憲法（東京書籍6年）</li> </ul> <p>※歴史学習を修了していなくても、十分に扱うことはできる。</p> <p>【教科書以外で「戦争」や「平和」に関わる主な学習材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK for School「戦後75年サイト」の動画クリップと番組</li> <li>・地域に居住する戦争体験者の話</li> <li>・学校の歴史</li> <li>・関連する書籍</li> <li>・修学旅行や移動教室で訪れる広島、長崎、沖縄などの戦争遺産</li> <li>・地域に残る戦争関係碑や遺跡、施設など</li> <li>・平和や戦争に関わる表現作品（音楽・絵・歌・詩など）</li> </ul>
つかむ（2時間）	<p>1. 「平和」という言葉から、どのような言葉が浮かんでくるか、自分なりの平和のイメージを表してみる。</p> <p>☆「平和」なくらしのためには、いろいろな要素が関連している。</p> <p>2. <a href="#">「カラフル！／ぼくの新しいくらし（スイス）」</a>を部分視聴する（00:00～08:38）</p> <p>☆母国を離れたくらしはことばや文化の違いでとても大変そうだ。</p> <p>☆将来の暮らしに不安なのではないかな。</p> <p>☆「平和」と「難民」のイメージマップ②は、あまりに違いがある。どうして同じ地球上で、こんなに差があるのだろう。（目安：2時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「平和」から浮かぶキーワードをつないで、イメージマップ①を作りましょう。</li> <li>・自分たちの日常生活の中で当たり前と思っていることの中に「平和」があることに気付くようにしたい。</li> <li>・平和なくらしのために必要な条件は「戦争がない」というだけでなく「SDGs」の目標に近いことを、<a href="#">一覧表</a>（※コメント欄参照）を示しながら確認する。</li> <li>・SDGsには食糧、環境、産業、教育など17の目標がある。これら一つ一つの事象を、関連付けて作業を進めるよう示唆する。</li> </ul> <p>・平和とSDGsのかかわりの中で特に「難民」に着目し、そこにどのような問題があるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●視聴したことをもとに感想を述べ合い、「難民」をキーワードに視聴記録のイメージマップ②を作り、前時のイメージマップ①と比べ、難民の生活がいかに平和な日常を奪い取られてしまっているかを確認しましょう。</li> <li>・自分たちが考えている今の当たり前が難民の人にとっては当たり前でないことに気付くようにしたい。</li> </ul> <p>※NHK for School <a href="#">学習クリップ「難民」</a></p>
調べる（3時間）	<p>3. 世界の「難民」の実情について、個々で国を選択し、課題を設定し、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「原因」「生活」「解決のための活動」「自分たちにできること」等の視点から調べる。</li> </ul> <p>（目安：3時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロヒンギャ・シリア・イエメン・南スーダン等の紛争による難民、異常気象やそれに伴う自然災害で住む場所を追われた難民等に広げる。</li> </ul> <p>【多様な教材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※民間企業のSDGs活動 等</li> <li>※NHK for School <a href="#">学習クリップ「SDGsとは」</a></li> </ul>
考える（2時間）	<p>4. 自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆もっと多くの人たちに知ってもらうため、全校に難民について発信しよう。</li> <li>☆ボランティアなど、自分たちにできる活動を考え、取り組んでみよう。</li> <li>☆詩や音楽、絵やポスターで表現しよう。</li> </ul> <p>（目安：2時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●難民の人たちに対して私たちは何ができるでしょうか。</li> <li>・自分たちが調べたことを相手に理解してもらうために、資料や図、グラフ、写真などを活用する。</li> <li>・民間企業との連携に関しては、教員がサポートをする。</li> <li>・伝えたいことを明確にして表現方法を選ぶようにする。</li> <li>・今後の取り組みについて考えをまとめる。</li> </ul>

ここで示した学習計画は、子どもたちが平和学習を始める際の導入部分と考えている。したがって、「深める」段階では、この学習を通じて考えた子どもたちなりのアクションプランが大切であり、計画をより具体化していくためには教員のサポートや専門家のアドバイスが必要になることは言うまでもないが、子どもたちの主体的な学びにしていくためには、周囲が入り込み過ぎず子供たちの活動を見守り支える立場であることを忘れないでいたい。

活動した成果は発信することによって、子どもたちに自信を育て、学習の充実感を味わわせることができる。これまでの学習経験を生かして、発表は様々な方法を選択できるようにし、聞く側に理解してもらえるように表現することを意識させたい。その際、自己の振り返りと共に、聞く側の意見や感想を集約できるような振り返りカードを工夫したい。